

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	経営戦略研究科・会計専門職専攻
大項目	5 教育内容等の改善措置
中項目	
小項目	5.0.1 教育内容等の改善措置
要素	①教育の内容及び方法の改善を図るための研修及び研究が、組織的かつ継続的に行われていること。 ②会計大学院における実務家教員における教育上の経験の確保、及び研究者教員における実務上の知見の確保に努めていること。

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 広く教員が情報共有できるしくみを構築する。	→教員相互の研究発表によるFD研究会の開催回数・参加者数、FD講演・セミナー等の開催回数・参加者数	C	C	B	B	/
2. 実務家教員における教育上の経験及び研究者教員における実務上の知見の確保のしくみを構築する。	→授業参観およびFD研究会の開催回数	C	C	B	B	/
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	教員相互による研究発表によるFD研修会を、専攻会議(会計専門職専攻・経営戦略専攻)後ないし教授会後に、5回(5月・7月・10月・11月・1月)実施した。毎回、当該会議に出席した教員が参加して、AS、BSそれぞれの教員(合計18名)による発表と、参加者全員による質疑応答を行った。
目標2	上記の教員相互による研究発表によるFD研修会は、実務家教員における教育上の経験及び研究者教員における実務上の知見の確保にも資するように進められた。そこでは、任期制実務家教員を含む実務家教員と研究者教員相互の研修も図られた。
備考	